

**令和3年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ【活動紹介】**

## 米山宗久ゼミナール

# 親子支援と多世代交流促進活動

## ～知育玩具を用いた活動支援～

「楽しさ」を親子や祖父母と分かち合うことで、親子関係の健全化、パパ友ママ友や多世代交流の推進を図ること目的としています。

その背景は、1つ目はワークライフバランス・家族形態の変化・親子の会話の減少・スマホやゲームの普及による親子関係の脆弱化がある。2つ目は、个人中心主義・プライバシーの尊重・核家族化による交流の弱体化があります。

多世代交流の場の提供、世代や障害の有無にかかわらず、多様な人が共に暮らすことができる「地域共生社会」の実現がうたわれるなかで、高齢者から子どもまで幅広い世代のつながりを生み出す「多世代交流」が注目されています。高齢者世代に「遊び」を通じて、子世代・孫世代との交流を推進しています。



【参加学生】 12名(3年生7名,4年生5名)

4年生 石井 恭平、江村 拓真、瀧澤 華蓮、長倉 優奈  
 中澤 萌  
 3年生 星野 仁、小岩 真子、谷江 未羽、早川 みのり  
 星 安海、Le Thanh Quang、神田 綺華

利用者意見 (子育ての駅ぐんぐん イベント)

普段できないほどのプラレールの量に、パパと子どもで興奮して夢中で楽しみました。また企画してほしい。

ゼミ生

子育てしているママ限定のイベントもしてみたい。

父親と話すのが楽しかったし、子どもが心を開いてくれて嬉しかった

## 西俣先子ゼミナール

# 環境問題、農業、地域活性化についての研究

## 「多様な視座を得ることによる新たな感動」

【研究テーマ】 環境問題、農業、地域活性化などをテーマとして研究を行っています。ゼミナールでは、研究テーマ、調査内容について、ディスカッションを通じて決定します。2021年度の4年生は「長岡市の生ごみのバイオガス化事業の現状と周知における課題」「新潟県における麻(ヘンプ)の栽培と活用の歴史」「国内外における麻(ヘンプ)活用の現状」をテーマとして研究調査を行っています。2021年度の3年生は「長岡100年企業」現代まで続く老舗企業の存続要因」「スポーツツーリズム、ヘルスツーリズムの視点から長岡市を活性化するには」をテーマとして研究調査を行っています。



【活動内容】 通常時はゼミナールの合宿で多様な地域を訪れ、研究者や企業の方、自治体の政策担当者などに対するインタビュー調査、他大学の学生や院生との研究発表会や交流を行ってきました。

多様な背景や立場をもつ「ひと」や新しい「こと」に触れるなかで、一生ものの知識や視座が得られると信じています。一緒に学びましょう！



【参加学生】 4年生13名

4年生 伊丹友哉 内山隆洋 榎並玲子 小池涼太 小玉将輝  
 白井快弥 田邊友也 中野樹 中野優花 星野大智  
 本間聖隆 丸山優音 八塩健斗

【参加学生】 3年生8名

3年生 小宮竜太郎 佐藤佑紀 関直人 田口杏輔 田邊怜  
 豊島義樹 渡辺康太 渡辺恵

令和3年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ活動紹介

## 山川智子ゼミナール

# 自分を守る『危機管理』、何とかやってみよう！の『自己効力感』

ゼミで力を入れているのは『危機管理がきちんとできること』と『自己効力感を醸成すること』です。大学を出て社会人になる前に、世の中のしくみや自分たちの生活や生命を守るために必要な知識や情報をなるべく多くつかんでいって欲しいと切に願っています。

新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害の急増という社会的変化の波にもまれながらも、リスクを回避してたくましくしなやかに生きてゆくためにも、ゼミ生たちの自己効力感を高めてレジリエンスを強化する地固めを図っています。



まちなかキャンパス長岡 10周年祭に向けて、記念のノベルティグッズの開発に取り組みました。上記のタオル（色違い2パターン）はゼミ生者のアイデアや意見が形になったものです。まちキャンで販売しています。

【参加学生】 18名(3年生8名,4年生10名)

4年生 大淵 麻央、笠原 ちづる、小杉 悠菜、齋藤 芽生  
 佐藤 友紀、瀬藤 大河、長原 夢里香、宮島 由似  
 山代 裕也、吉田 彩也花  
 3年生 岡部 智也、佐藤 秀輔、滝澤 颯太、中嶋 優貴  
 羽田 紅紫、王 晓红、瞿 霞、辛 梦

## 吉川ゼミナール

# プログラムはかんたんに作ることができる(かもしれない)

ソフトウェア(アプリなど)の作成には、知識や時間がかかるように思われますが、単純なものであれば、意外と簡単に作ることができるものもあります。

ゼミでは、コンピュータ室で実際にコンピュータを使いながら、アルゴリズム(プログラム)の基本となる「判断分岐」、「繰り返し」についてパズルなどを利用して理解を深め、簡単なプログラムの作成を行っていく予定です。最終的に、「スマホで他人に見せられるアプリを作る」ことを目標に考えています。



Scratchによるプログラムの例。  
 実際に何か作って動作(制御)の理解を深めます。

【参加学生】 21名(3年生11名,4年生10名)

4年生 鶴保 暁人、金山 喜一郎、岸 耕輝、下平 泰生、  
 高木 滉大、高橋 泰成、手塚 誠人、永井 良典、  
 山住 祥大、若井 歩美  
 3年生 石原 拓朗、大橋 佑生、佐藤 綾気、島田 竜治、  
 竹内 駿、通所 裕幸、永井 龍統、野澤 峻、  
 丸山 輝星、山本 大晟、和田 空翔

**令和3年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ【活動紹介】**

## 中村大輔ゼミナール

# 有価証券報告書等を通じた財務分析 およびビジネスモデル探求

中村ゼミでは、会計を通じた人材育成に取り組んでいる。特に、企業の有価証券報告書等を用いた財務分析やビジネスモデルの探求を通じて、課題発見や課題解決が行えるように学んでいる。

当ゼミでは、各学生が自分の興味ある企業について、公表資料等をもとに分析を行っている。前期では、公表資料の構成・読み方などを検定試験問題等も交えて学んだ。後期では、各学生が財務諸表や、株価、ニュース等を用い定量的・定性的に分析を行い、その結果を卒業論文または報告書として完成させる予定である。



簿記会計は地味ですが企業を支える「縁の下の力持ち」のような存在です。「お金が関わる所に簿記会計あり」です。会計数値が理解できなければ、良い経営はできません！

【参加学生】 16名(3年生2名,4年生14名)

4年生 入澤優介、坂井瑠、佐々木彩乃、常亜青、種村俊吾、鶴元裕  
津田桂吾、手塚美樹、長谷川拓未、松本海都、水落郁花  
渡邊翔、Munkhbat Dairiimaa、江村拓真

3年生 椎谷太一、山崎智也、

## 牧野智一ゼミナール

# 日本の財政の現状や財政の役割についての研究

牧野ゼミナールでは、普段の生活ではほとんど意識しないけれども、私たちの生活に様々な影響がある財政について学修しています。

3年次には財政に関するテキストを輪読し、日本の財政に関する知識を深めるとともに、自ら考える能力やプレゼンテーション能力を養うことを目的として活動しています。

4年次には、各自が経済や社会にかかわる問題をテーマに選び、4年間の学修してきた知識や経験を活用したり、様々な文献などを調べたりするなどの努力により、40,000字以上の字数を目標にして大学生生活の集大成となる卒業論文の作成をしています。



【参加学生】 16名(3年生5名,4年生11名)

4年生 勝田旭、浅野義人、木部龍人、久保公人、小松賢太、戴昂、  
武田知樹、田辺将太、陈立承、陸雨柔、劉宝志  
3年生 岡副輝、杉沢ガブリエル、田村康太、横山大洋、由士博

昨年度や今年度はコロナ禍の影響でできていませんが、ゼミでは定期的にゼミのコンパを開催したり、夏休み期間を利用して1泊2日でゼミの研修旅行などを行ったりして、ゼミ生同士の交流を深めています。